

【レクチャー】

保育・教育現場での楽しい表現活動

Fun expression activities in childcare / education settings

飯泉 祐美子 (帝京科学大学)

Yumiko IIZUMI (Teikyo University of Science)

(キーワード)

表現活動、幼年音楽教育、音楽科教育、保育者・教員養成、

はじめに

表現活動とは、「当事者が心の中の思いを楽しく表出する」ということが、ありのままの素敵な表現となります。そのため、表現活動の際に楽しい表現空間づくりの手掛かりになることを願いこの企画をいたしました。

保育・教育現場の表現活動

保育者、教師にとって表現活動で必要なスキルというと一般的に「ピアノの演奏や音楽の知識」、「楽器の演奏やその知識」、「歌唱力」等の獲得と思われがちですが、保育者・教員養成校ではそれにとどまらず、以下二重線を念頭に置きそれを目指して展開する必要があります。

- (1) 子どもたちの歌のリードが出来る
- (2) 子どもたちの楽器あそびのリードが出来る
- (3) 子ども達と共に表現することを楽しむことが出来る

つまり、いかにして子どもたちの持つ表出しようとする力を引き出し、表現へと導くことができるか、そのためのに必要な仕掛けができるかということが保育者、教員養成の上でも大変重要なこととなります。

子どもの表現とは

子どもの表現とは図1のように心で感じ、人と関わりながら興味をもってまねを繰り返すことによって主体的な経験となり、将来の豊かな感性と表現の獲得へとつながります。

その心の中は「うきうき」「わくわく」「どきどき」でいっぱいです。保育者や教師はその気持ちを共有して一緒に表現しましょう。

楽しい表現活動（報告）

以下の2つの活動を企画しました。

1. 手話ソングで楽しもう

作詞：新沢としひこ

作曲：中川ひろたか

「にじ」

参加者で手話ソングを行いました。

2. カップスを楽しもう

「とんでったバナナ」「かたつむり」の2曲をカップスのリズムで歌いながら楽しみました。後半の2小節分のリズムでやや苦戦しましたが、最終的には4人組で楽しむことができました。

参加者の皆さんおひとりおひとりが笑顔のひと時となり盛会で終了することができました。

子どもの表現とは

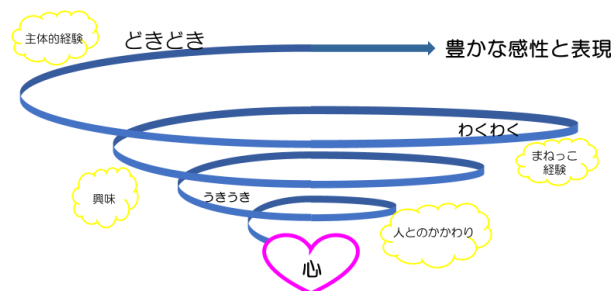


図1